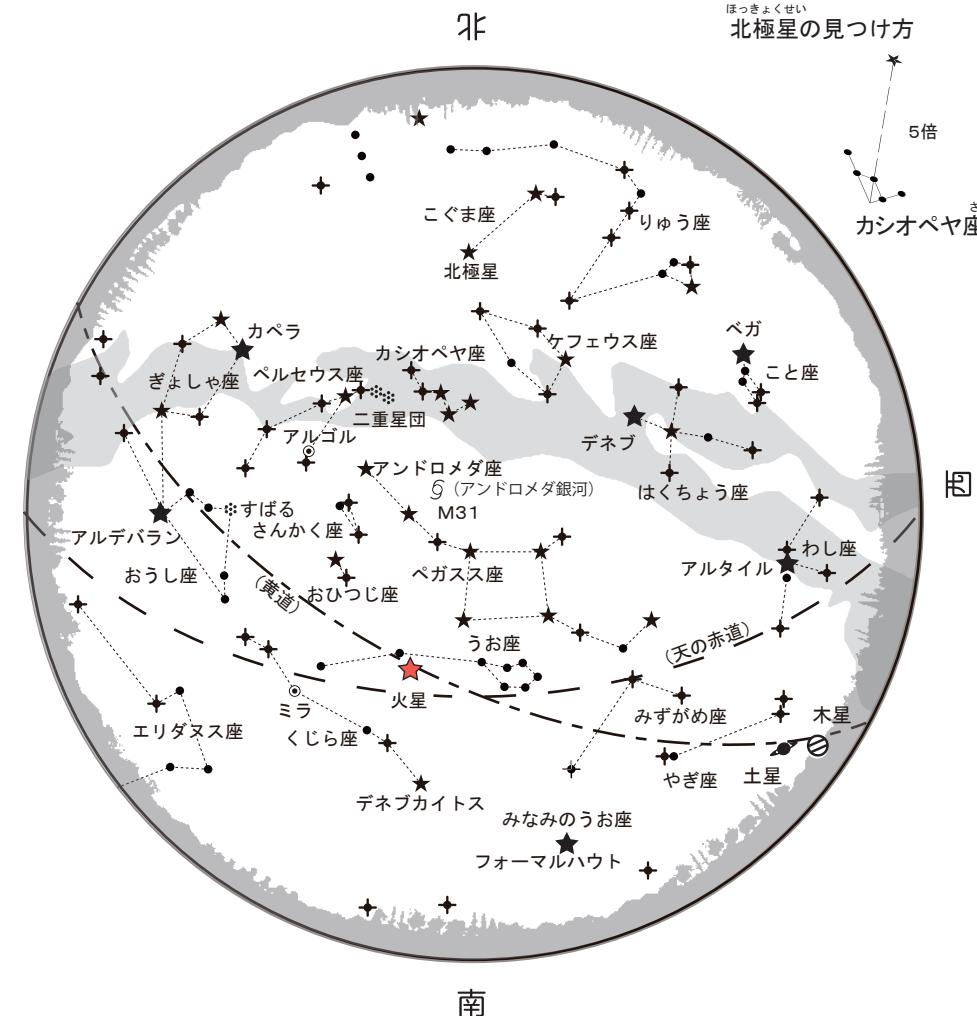


# 富山でみえる 2020年11月の星空

自分の見たい方角を下にして、その方角の空を見てみよう。



★ 1等星と、より明るい星

★ 2等星

◆ 3等星

● 4等星と、より暗い星

○ 変光星

※ 星団

▲ 星雲

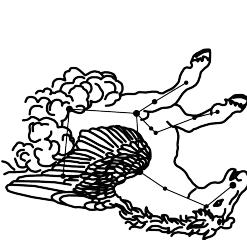
⌚ 銀河

～この星空が見えるのは～

11月 5日 午後9時ころ  
11月 20日 午後8時ころ  
12月 5日 午後7時ころ

～月のようす～

11月 8日 下弦  
11月 15日 新月  
11月 22日 上弦  
11月 30日 満月



## ペガスス座

「秋の四辺形」と呼ばれる大きな四角形の星の並びがあり、秋の星座たちを探す目印となります。ペガススは、ギリシャ神話に出てくる空を飛ぶことのできる翼をもった馬です。星座絵では、後ろ半分が雲にかくれて見えないことになっています。



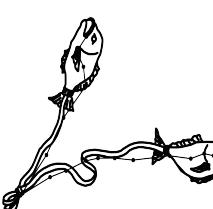
## カシオペヤ座

北極星を見つけるための星座としてよく知られています。Wの形が目印と言われていますが、秋はひっくり返ってMの形に見えます。日本では、船のいかりや山の形に似ているので「いかり星」とか「山がた星」と呼ばされました。



## アンドロメダ座

秋の四辺形の北東側の星からのびるように並んだ3つの2等星が目印です。この星座には、私たちのいる銀河系の隣の大型銀河であるアンドロメダ銀河（M31）があり、空の暗い所では、肉眼でも見ることができます。



## うお座

秋の四辺形の南側と東側に2匹の魚がいて、それらをひもでつないだ姿がうお座です。星占いの星座のひとつとして有名ですが、暗い星ばかりなので、街明りのあるところではたどることができません。この2匹は親子の魚と言われています。



## ペルセウス座

カシオペヤ座のとなりにあり、漢字の「人」の形のように星が並んでいます。毎年8月12日ころにたくさん流れ星が見られるペルセウス座流星群が有名です。神話ではくじら座として描かれている怪物を倒した勇者で、手にはメデューサの首を持っています。

# せいざ 秋の星座の見つけかた



11月中ごろ 午後8時ころ

- 1 頭の真上(天頂)に、秋の四辺形(ペガススの四辺形)を見つけます。
- 2 秋の四辺形の西側の辺を南にのばし、みなみのうお座のフォーマルハウトを見つけます。
- 3 秋の四辺形からつながるアンドロメダ座、その付近にあるカシオペヤ座、ケフェウス座、ペルセウス座も見つけてみましょう。

## ○小惑星探査機「はやぶさ2」の挑戦は続く

「はやぶさ2」の地球帰還の日が迫ってきました。小惑星「リュウグウ」を探査し採取した土を持ち帰ることで、太陽系の起源や進化、生命の材料を探ることを目的としています。「はやぶさ」の経験を生かし、人工クレーターの生成、深宇宙での高速通信、新規観測装置などにも挑戦しています。採取した土の入ったカプセルを地球に投下した後、小惑星「1998KY26」へ向かうことが決まりました。到着は11年後の2031年7月、約100億kmの旅路です。小惑星の地球衝突による被害の軽減や、太陽系のより遠方への探査に必要な情報を得ることを目指す「はやぶさ2」の新たな挑戦が始まります。

## 「はやぶさ2」の軌跡

2014.12. 3	打ち上げ たねがしま 場所 種子島宇宙センター 質量 609Kg 本体 1×1.6×1.25m
2018. 6. 27	小惑星リュウグウに到着
2019. 2. 22	第1回タッチダウン
2019. 7. 11	第2回タッチダウン
2019. 11. 13	小惑星リュウグウを出発
2020. 12. 6	カプセル地球帰還(予定) 往復 約50億km



© JAXA

## ○月と惑星の共演

11月は日の出の時刻が遅くなり、明け方の天体観察がしやすくなります。東の低くには金星、その近くに水星がかがやき、この2つの惑星に12日から13日にかけて月が近づきます。月は、19日ごろ夕方の南西の空に並んでかがやく木星と土星に、また、25日から26日にかけて夕方の南東の空に見える火星に近づきます。月と惑星たちの共演を楽しみましょう。

